

令和7年度（2025年度）学校評価について【北海道星置養護学校星置校舎】

1 保護者評価について

(1) 回答率

- ア 星置校舎小学部 65.3%（79名提出／121名在籍）
- イ 星置校舎中学部 61.4%（27名提出／44名在籍）
- ウ 星置校舎訪問部 7%（1名提出／14名在籍）
- エ 星置校舎全体 59.8%（107名提出／179名在籍）

(2) 結果

ア 評価点

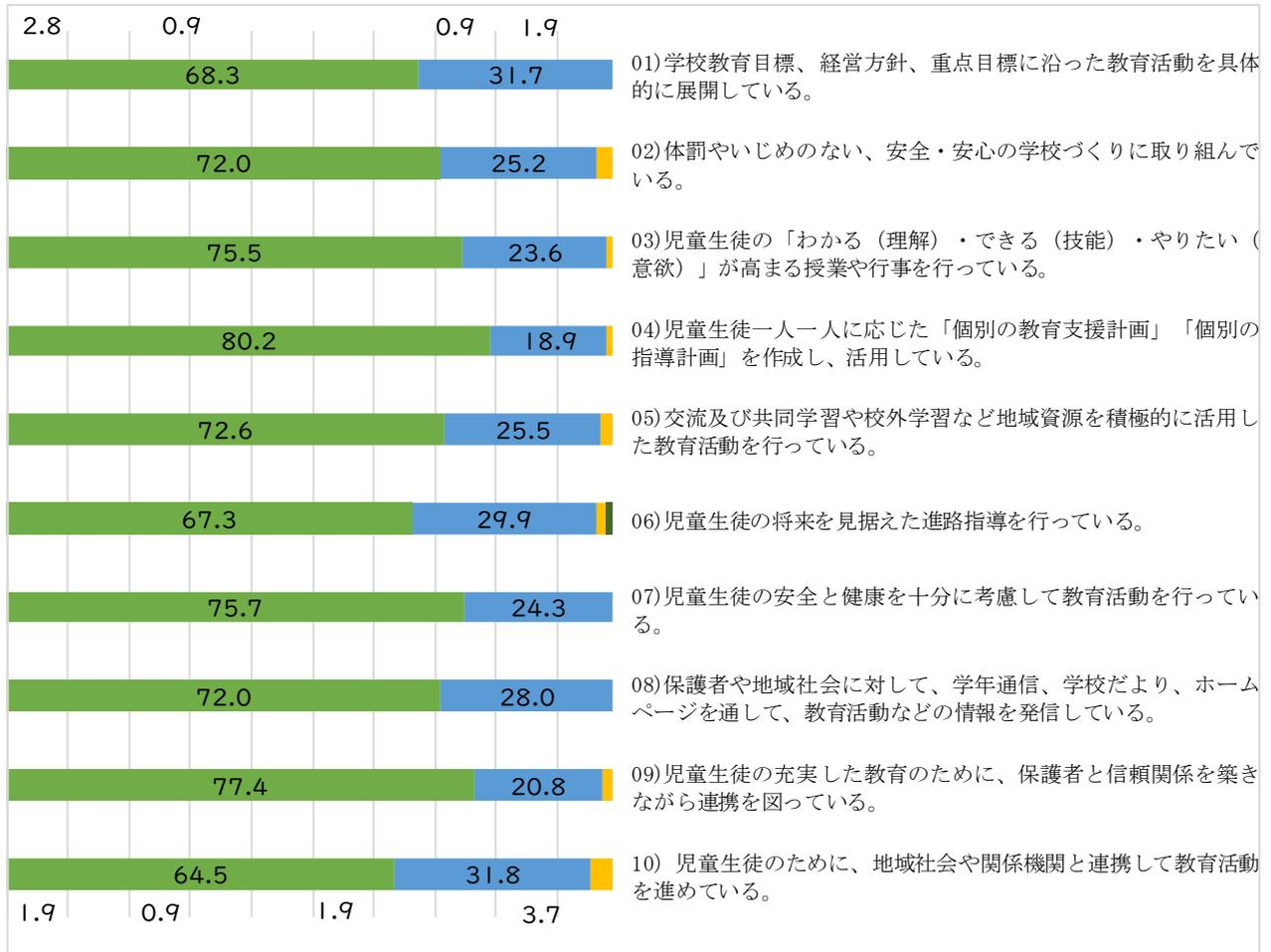
評価A：達成できている                      評価B：おおむね達成できている  
評価C：あまり達成できていない      評価D：達成的できていない。

イ 図1は10の評価項目を、グラフで整理した図である。

【図1：保護者アンケート集計】

（緑色：評価A / 水色：評価B / 黄色：評価C / 濃緑色：評価D）

単位（%）



### (3) 分析および考察

#### ア 今年度の全体的な傾向

(ア) 全体的に「評価できる」「おおむね評価できる」という傾向にある。

(イ) 「評価できる」が平均約73%となっており、高い評価をもらっていると言える。

質問の06「児童生徒の将来を見据えた進路指導を行っている」、10「児童生徒のために、地域社会や関係機関と連携して教育活動を進めている」がやや低い評価が見られるため今後の検討が必要と思われる。

#### イ 高評価項目

04の「児童生徒一人一人に応じた『個別の教育支援計画』『個別の指導計画』を作成し、活用している」で80%の保護者が「評価できる」と回答している。

普段から計画的に児童生徒の様子を観察してその児童生徒に合わせた指導や保護者との連携が出来ている証拠と言えるだろう。これに甘えることなく、日々継続した指導を行っていきたいと考える。

その他でも児童生徒への授業の在り方や安全確保、保護者との連携なども高評価をいただいている。校長の掲げるグランドデザインについて職員が理解し、共通した意識のもと、指導に当たっていること、「子どもがまん中」の考えが浸透しているのではないかと思われる。我々の教育についても保護者の理解を得られているという結果と受け止めている。

#### ウ 低評価項目

02の「体罰やいじめのない、安全・安心の学校づくりに取り組んでいるでは「達成できていない」という評価がある。自由記述でも触れられているが適切ではない指導と受け取られないような状況が見られるとのことで、より一層指導について注意が必要と思われる。一部を見て全体がそう思われることがないように、ひとり一人が気を付けて行くべきと反省していききたい。

06の「児童生徒の将来を見据えた進路指導を行っている」については「達成できていない」という評価がある。保護者への説明であったり、日々の指導について十分伝わっていなかったり、保護者との連携が希薄になっているのか、改めてより児童生徒の将来を見据えた指導の中で「今何が必要なのか」、「本人、保護者のニーズは何か」なども考えていかなければならないかもしれない。

それに合わせて09の「児童生徒の充実した教育のために、保護者と信頼関係を築きながら連携を図っている」でも低い評価がある。少数意見と切り捨てるのではなく、自分事として職員が意識をして見直しを図っていく必要もあると考える。

10の「児童生徒のために、地域社会や関係機関と連携して教育活動を進めている」についても低評価がある。交流学習や地域学習など行っているが、目に見えて地域社会との連携について発信出来ていないのかもしれない。スクールサポートスタッフなど協力をいただいているが、地域との連携という面では情報発信力がやや足りないのかもしれない。今年度はスクールキャラクターの作成など学校運営協議会でも話題にして地域との連携に力を入れているが、その情報についてもやや遅れていると結果から感じ取れ

る。地域資源の活用や地域にある学校との交流などもう少し増やせるのであれば検討をしていきたい。

### 3 まとめ（学校課題及び今後に向けての改善の方向性等）

評価していただいている部分もあるが、厳しい意見があることも事実として真摯に受け止めなければならない。

児童生徒への指導について、マルトリートメントの意識について再度全職員で確認すること、コンプライアンスについても再度確認を行っていく。

保護者や管理職など、他人に見ているからやるではなく、見られていなくてもリスペクトの精神をもち、児童生徒の人権を意識した対応を心掛けていきたい。

（児童生徒は）言えないからこそ、表情や行動から読み取り何をして欲しいのかなど理解することが大切であり、日頃の観察力が大事になってくる。

写真の取扱いについては、ここ数年話題になっている。学校としても個人情報の取扱いやどうすることが良いのかを検討している状況である。



### (3) 分析および考察

#### ア 今年度の全体的な傾向

(ア) 全体的に「おおむね達成できている」という自己評価がされている。ただ「あまり達成できていない」という評価が高い項目もあるため、改善に向けて検討が必要な部分もある。

(イ) 「達成できている」が平均 17%、「おおむね達成できている」が平均 70%、合わせて 9 割近くが良い評価となっている。その反面、02 の「研究研修の充実による専門性の向上及び成果の発信（ICTの効果的活用を含む）」、03 の「地域資源の把握と有効活用の在り方の整理・検討、地域貢献を意識した学習活動の充実」、05 の「働き方改革を意識した業務の効率化と教材研究時間の確保、また、そのための協働体制の構築」、15 の「学校運営協議会（CS）、保護者や地域等と連携した教育活動を推進し、地域の特別支援教育のセンター的役割を発揮して、地域に貢献し、地域とともに歩む学校づくりに努める」などの項目で「あまり達成できていない」が平均して 29%とやや低い評価となっていることから、次年度以降の課題であると考えられる。

#### イ 高評価項目

教職員としての本質である「授業」については多くの職員が高評価をつけている。授業改善や児童生徒に合わせた内容の検討なども考えて計画を立てていることが伺える。

進路指導や保護者との連携についても高評価をつけているが、保護者との見解の相違も見られるため、より具体的に保護者が何を欲しているのか、本人にとって何が必要なのかを見極めることも必要かもしれない。

#### ウ 低評価項目

地域との連携については低評価が目立っている。保護者からも同様の評価を受けていることから、次年度以降の課題と言える。ただ、何をしているのか見えていない部分が大いと思われる。学校運営協議会(CS)の活動について、もう少し職員や保護者へ活動内容をお知らせすることも必要かもしれない。

また、研修研究についても、やや低評価となっている。ICTを含むにしているので、その活用について研修をしたいのか、生徒の実態に合った内容にして欲しいのかは研修部との協議が必要かもしれない。

### 3 まとめ（学校課題及び今後に向けての改善の方向性等）

働き方改革については、超過勤務時間の縮減に目が行きがちではあるが、本来は業務を精選し、子どもたちと向き合う時間を確保することがねらいであると確認したい。

これ以上業務の精選は難しいという声も聞こえてくると思うが、それなら行事のを減らすなどの対応も考えていかなければならない。授業時数の削減も言われている中なので、ますます教える内容について精選していかなければならないと考える。

持ち帰り業務や業務の偏りについては、チーム学校としてそれぞれが出来ることは何かを考え、少しでも業務の負担が減るように話し合いであったり、協力であったりで行っていくしかないと考える。例として学部付きが本来の仕事ができるように補欠体制に頼らずに出来るようになることが理想と思う。現実の問題として、厳しいことは重々承知しているが、出来ることはないかを一人一人が考えていくことも大事ではないか。

学習環境や設備の古さについては、ここで解決できるものとできないことがある。建物の老朽化については学校独自で出来るものではない。教材教具についても整理し、必要なものは予算委員会を通じて購入してもらう方向で検討してはどうか。環境整備については、今すぐできることとできないことがあるので、まずは指導として出来ることは何かを考えて実行していただきたい。

やらないではなく、必要なものは揃えられるよう協議が必要であり、検討の余地はある。

# 1 施設関係者評価について

## (1) 回答(18名)

- ア 大倉山学院 55.6% (10名提出)
- イ 緑ヶ丘療育園 44.4% (8名提出)

## (2) 結果

### ア 評価点

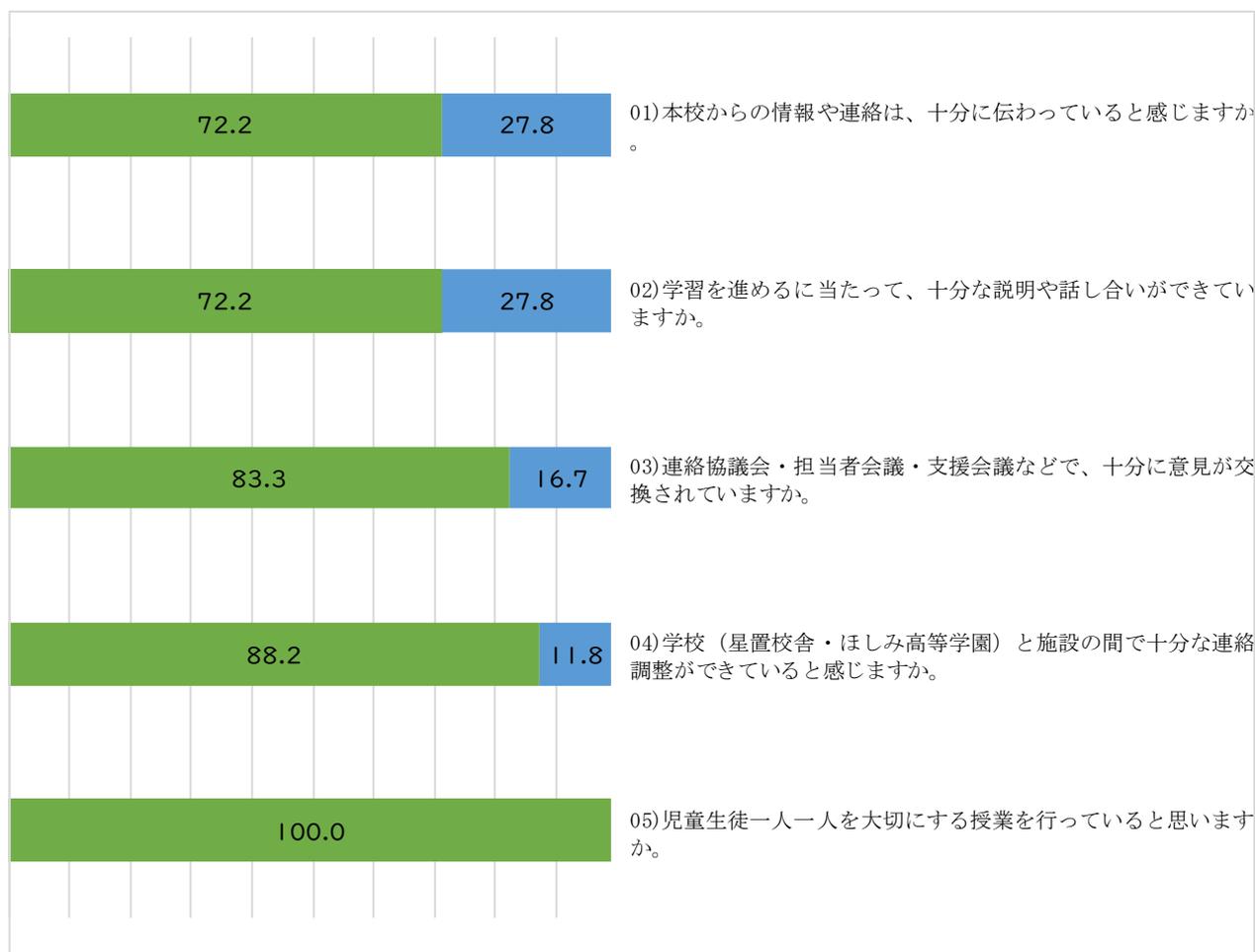
- 評価A：達成できている                      評価B：おおむね達成できている
- 評価C：あまり達成できていない        評価D：達成的できていない。

イ 図1は5つの評価項目を、グラフで整理した図である。

【図1：施設関係者アンケート集計】

(緑色：評価A / 水色：評価B / 黄色：評価C / 濃緑色：評価D)

単位 (%)



## (3) 分析および考察 5

(ア) 全体的に高評価である。職員全体ではなく、指導課長に評価をお願いしている部分が昨年とは違うので、評価も変わっているのかもしれない。それでも高評価をいただいていることは、普段から児童生徒への配慮が出来ている証拠ではないだろうか。

(イ)「達成できている」が約 83%、「おおむね達成できている」が約 17%と合わせてほぼ 100%の評価をいただいている。

特に 05「児童生徒一人一人を大切にす授業を行っていると思いますか」では 100%「達成できている」という評価をいただいている。

イ 高評価項目

全体的に高評価。全ての項目において約 8 割以上が「達成できている」となっている。連絡調整などもほしみ高等学園と一緒にはなっているが、高評価をいただいている。

ウ 低評価項目

低評価については、見られない。

3 まとめ（学校課題及び今後に向けての改善の方向性等）

情報伝達や情報共有についてより良くするためにできることを考えていけたらと思う。高評価をいただいているが、より密な連携が求められているのではないかと考える。指導については、申し分ないようなので、継続して行っていきたい。